

2020年2月7日

2020年3月期 第3四半期 決算説明会（電話会議）

説明者 取締役副社長CFO・財務部長 宮崎純一



Nissan Chemical
CORPORATION

**Institutional
Investor**
2019 ALL-JAPAN EXECUTIVE TEAM
MOST HONORED COMPANY

2019 3Q実績

(億円)

	2018実績 (A)			2019実績 (B)			前年同期比 (B)-(A)			2019予想 (C) (2019/11発表)		予想比 (B)-(C)
	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	3Q	1-3Q 合計	
売上高	980	439	1,419	965	415	1,380	-15	-24	-39	425	1,390	-10
営業利益	194	44	238	180	34	214	-14	-10	-24	26	206	+8
営業外損益	12	4	16	6	5	11	-6	+1	-5	3	9	+2
経常利益	206	48	254	186	39	225	-20	-9	-29	29	215	+10
特別損益	0	0	0	9	0	9	+9	+0	+9	0	9	+0
純利益 (1)	154	34	188	145	30	175	-9	-4	-13	23	168	+7
EBITDA (2)	244	73	317	227	63	290	-17	-10	-27	-	-	-
EPS (円/株)	103.53	23.11	126.64	98.75	20.76	119.51	-4.78	-2.35	-7.13	-	-	-
売上高営業利益率	19.8%	10.1%	16.8%	18.7%	8.2%	15.5%	-1.1%	-1.9%	-1.3%	6.1%	14.8%	+2.1%
為替レート (円/ドル)	110	113	111	109	109	109				108	-	
ナフサ (円/kl) (3)	51,200	54,200	52,400	42,800	41,300	42,300				42,100	-	

(1) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

(3) 実績は財務省貿易統計ベース

2019 3Q決算 ハイライト

1. 3Q実績

(1) 3Q単独

1) 前年同期比

- ◆ 営業利益は、前年同期44億円に対し、34億円と10億円の減益
- ◆ 化学品は、メラミン・テピック・環境化学品の減収が大きく、減益
- ◆ 機能性材料は、ディスプレイの好調と、固定費の減少を主因に増益
- ◆ 農業化学品は、グレーシア増収も、フルララネルの出荷減(業績予想織り込み済み)があり減益
- ◆ 医薬品は、リバロの減収により減益

2) 業績予想(2019年11月発表、p2・p12・p28記載)比

- ◆ 営業利益は、業績予想26億円に対し、34億円と8億円の**上ぶれ**
- ◆ 化学品は、メラミン・テピック・環境化学品を中心に大幅**下ぶれ**
- ◆ 機能性材料は、ディスプレイ好調と半導体の回復、固定費の**下ぶれ**を主因に**上ぶれ**
- ◆ 農業化学品は、4Qからの前倒し出荷があり**上ぶれ**
- ◆ 医薬品は、ファインテックが**下ぶれ**
- ◆ 純利益は、業績予想23億円に対し、30億円と7億円の**上ぶれ**

(2) 1-3Q合計 前年同期比

- ◆ 営業利益は、前年同期238億円に対し、214億円と24億円の減益
- ◆ 化学品は、メラミンの減収に加えて、在庫変動影響(マイナス影響)あり、減益
- ◆ 機能性は、ディスプレイの好調(光IPSのスマホ・非スマホ用途拡大)と、固定費の減少を主因に増益
- ◆ 農業化学品は、グレーシアが大幅増収も、フルララネルの前年比出荷減があり、減益
- ◆ 医薬品は、リバロ国内は在庫調整完了により増収となったが、海外は減収、
ファインテックは微減収となり、減益

2019 3Q決算 ハイライト

2. 通期業績予想 (p28参照)

変更なし(3Q実績は予想を上回ったが、4Qは下ぶれる可能性あり)

3. 4Qセグメント売上動向 (対p11記載の2019年11月8日発表4Qセグメント売上高予想)

	現時点で上ぶれる可能性が大きいと推定
	現時点で下ぶれる可能性が大きいと推定
	現時点で予想通りの可能性が大きいと推定

		対2019年11月8日発表 4Qセグメント売上高予想	売上動向
化学	ファインケミカル		テピックは、一般向けは中国品の侵食による市況下落および数量減、電材向けは主要顧客の低調継続により、下ぶれの可能性が大きいと推定
	基礎化学品		メラミンは、中国品の侵食によるアジア市況下落および数量減で、下ぶれの可能性が大きいと推定
機能	ディスプレイ		サンエバーは、光IPSの好調継続により、上ぶれの可能性が大きいと推定
	半導体		ARC®・多層は、主要顧客の稼働急回復により、上ぶれの可能性が大きいと推定
	無機		スノーテックス一般・オルガノゾル・オイル&ガス材料の不調により、下ぶれの可能性が大きいと推定
農化	農薬		キノキシフェン (p22参照) 事業の買収・販売開始により、上ぶれの可能性が大きいと推定
	フルララネル		ほぼ計画通りの可能性が大きいと推定
医薬	リバロ		ほぼ計画通りの可能性が大きいと推定
	ファインテック		ほぼ計画通りの可能性が大きいと推定

2019 3Q実績

<前年同期比>

(売上高)	◆減収	-24 億円	(-5%)	(増収) 機能性材料 (減収) 化学、農業化学、医薬、卸売
(営業利益)	◆減益	-10 億円	(-23%)	(増益) 機能性材料 (横ばい) 卸売 (減益) 化学、農業化学、医薬
(経常利益)	◆減益	-9 億円	(-20%)	
(純利益)	◆減益	-4 億円	(-12%)	
(EPS)	◆減少	-2.35円		

<2019/11業績予想比>

(売上高)	◆下ぶれ	-10 億円	(上ぶれ) 機能性材料、農業化学 (予想通り) 医薬、卸売 (下ぶれ) 化学
(営業利益)	◆上ぶれ	+8 億円	(上ぶれ) 機能性材料、農業化学、卸売 (下ぶれ) 化学、医薬
(経常利益)	◆上ぶれ	+10 億円	
(純利益)	◆上ぶれ	+7 億円	

2019 1-3Q実績

<前年同期比>

(売上高)	◆減収	-39 億円	(-3%)	(減収) 化学、機能性材料、農業化学、医薬、卸売
(営業利益)	◆減益	-24 億円	(-10%)	(増益) 機能性材料 (減益) 化学、農業化学、医薬、卸売
(経常利益)	◆減益	-29 億円	(-11%)	
(特別損益)	◆増益	+9 億円		(特別利益) +17億円(有価証券売却益17億円・売却額29億円、 13銘柄(うち3銘柄保有全株数売却)) (特別損失) -8億円(フルラネルに関するクロスライセンス契約に 係わる当社負担金)
(純利益)	◆減益	-13 億円	(-7%)	
(EPS)	◆減少	-7.13円		

<株主還元(年間予想)>

(配当)	◆中間42円、期末46円、配当性向42.1%			(前年比: 中間2円増配、期末4円増配 2019/11業績予想比: 変更なし)
(自己株式取得)	◆100億円	(60億円・1,270千株取得(2019年5月~7月)、 40億円・取得中(2019年11月~2020年4月予定))		(前年比: +10億円、2019/11業績予想比: 変更なし)
(自己株式消却)	◆2百万株消却(2019年5月、8月)			
(総還元性向)	◆74.6%(2019/11業績予想から変更なし、2018年度実績72.0%)			

営業外損益・特別損益

(億円)

	2018実績			2019実績		
	上期	3Q	1-3Q合計	上期	3Q	1-3Q合計
営業外収益	17.8	5.4	23.2	13.6	5.5	19.1
受取利息・配当金	3.4	3.6	7.0	3.7	3.1	6.8
持分法投資損益	4.1	1.9	6.0	4.0	1.2	5.2
為替差益	3.1	-2.4	0.7	0.0	0.0	0.0
その他	7.2	2.3	9.5	5.9	1.2	7.1
営業外費用	5.7	1.8	7.5	7.4	1.3	8.7
支払利息	0.6	0.2	0.8	0.7	0.3	1.0
固定資産処分損	3.2	1.5	4.7	2.0	1.0	3.0
為替差損	0.0	0.0	0.0	2.2	-0.8	1.4
その他	1.9	0.1	2.0	2.5	0.8	3.3
特別利益	0.0	0.0	0.0	16.9	0.4	17.3
特別損失	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3

キャッシュフロー

	2018実績	2019実績	(億円)
	1-3Q合計	1-3Q合計	
営業キャッシュ・フロー	324	349	
税金等調整前純利益	254	234	
投資有価証券売却損益(－は益)	-3	-17	
減価償却費	79	74	
のれん償却費	0	2	
法人税等の支払	-92	-82	
運転資金増減他	86	138	
投資キャッシュ・フロー	-97	-129	
設備投資	-74	-66	
投資有価証券購入・売却	-5	26	
その他 (1)	-18	-89	
財務キャッシュ・フロー	-372	-400	
株主還元(配当)	-113	-124	
株主還元(自己株取得)	-50	-83	
借入金増減額	-208	-167	
その他 (2)	-1	-26	
現金及び現金同等物に係る換算差額	-1	-2	
現金及び現金同等物の増減額	-146	-182	
現金及び現金同等物の残高	231	180	

(1) 2019実績1-3Q合計：殺菌剤キノキシフェン事業買収-63、他-26

(2) 2019実績1-3Q合計：自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出-17、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得-8、他-1

貸借対照表

(億円)

	2018/12	2019/3 (A)	2019/12 (B)	増減 (B) - (A)
流動資産	1,263	1,525	1,258	-267
現金預金	231	362	180	-182
売上債権	482	692	478	-214
たな卸資産	489	420	508	+88
その他	61	51	92	+41
固定資産	953	945	990	+45
有形固定資産	539	527	526	-1
無形固定資産	16	15	75	+60
投資有価証券	346	352	336	-16
その他	52	51	53	+2
資産合計	2,216	2,470	2,248	-222

*投資有価証券内訳

上場株式	250	256	239	-17
非上場株式	25	25	25	-0
関係会社株式	71	71	72	+1
合計	346	352	336	-16

	2018/12	2019/3 (A)	2019/12 (B)	増減 (B) - (A)
負債	463	649	477	-172
買入債務	203	178	196	+18
借入金	79	266	99	-167
その他	181	205	182	-23
純資産	1,753	1,821	1,771	-50
株主資本	1,629	1,695	1,656	-39
その他有価証券 評価差額金	102	106	100	-6
為替換算 調整勘定	1	0	-4	-4
非支配株主持分	17	17	16	-1
退職給付に係る 調整累計額	4	3	3	-0
負債・純資産 合計	2,216	2,470	2,248	-222

・自己資本比率 78.3% 73.0% 78.0%

・D/Eレシオ (1) -9.3% -5.7% -4.9%

・株主資本増減-39 = 純利益175 - 配当その他214

(1) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

(白紙)

2018-19 セグメント別売上高(1)

(億円)

	2018実績(A)			2019実績(B)			前年同期比 (B)-(A)			2019予想(C) (2019/11発表)		予想比 (B)-(C)	2019予想 (2019/11発表)
	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	3Q	1-3Q 合計		4Q
化学品	170	96	266	168	87	255	-2	-9	-11	100	268	-13	105
ファインケミカル	51	26	77	52	26	78	+1	-0	+1	29	81	-3	32
基礎化学品	119	70	189	116	61	177	-3	-9	-12	71	187	-10	73
機能性材料	320	166	486	314	170	484	-6	+4	-2	162	476	+8	159
農業化学品	287	59	346	279	55	334	-8	-4	-12	52	331	+3	312
医薬品	37	19	56	34	16	50	-3	-3	-6	16	50	-0	20
卸売	334	181	515	333	175	508	-1	-6	-7	175	508	-0	163
その他	105	72	177	98	51	149	-7	-21	-28	55	153	-4	71
調整額	-273	-154	-427	-261	-139	-400	+12	+15	+27	-135	-396	-4	-130
合計	980	439	1,419	965	415	1,380	-15	-24	-39	425	1,390	-10	700

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

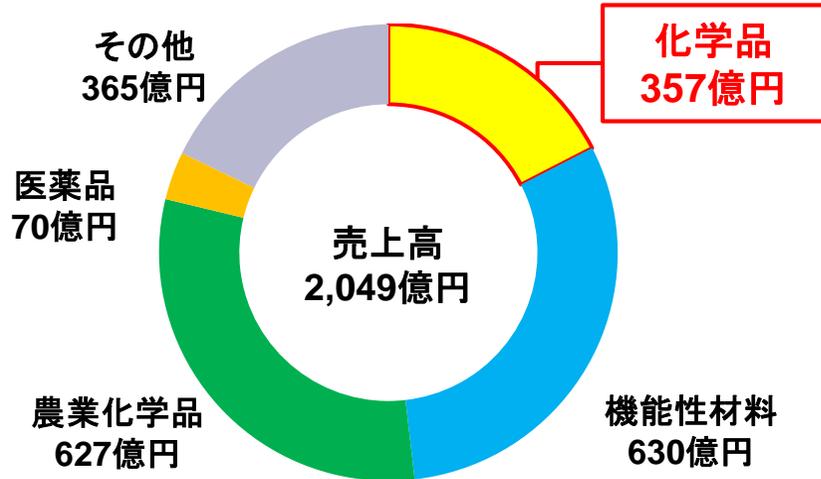
2018-19 セグメント別営業利益

(億円)

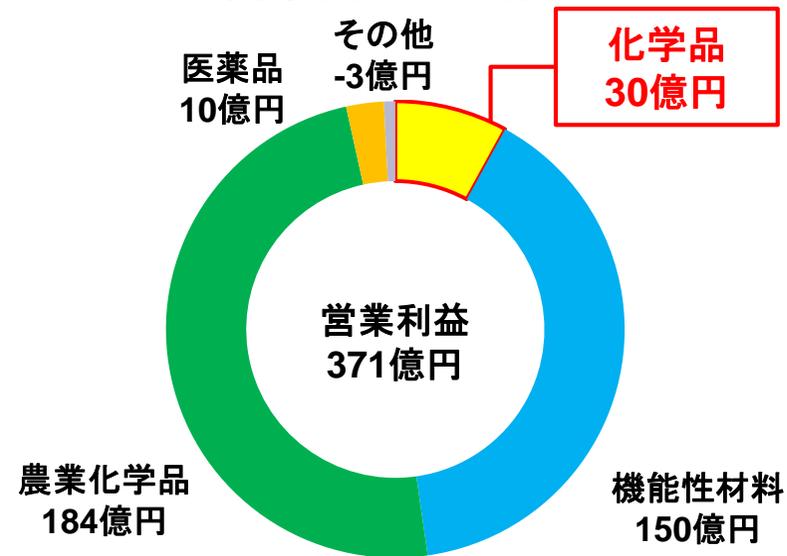
	2018実績 (A)			2019実績 (B)			前年同期比 (B)-(A)			2019予想 (C) (2019/11発表)			予想比 (B)-(C)	2019予想 (2019/11発表)
	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	3Q	1-3Q 合計	4Q		
化学品	12	10	22	3	6	9	-9	-4	-13	14	17	-8	17	
機能性材料	81	43	124	82	49	131	+1	+6	+7	35	117	+14	34	
農業化学品	98	-13	85	94	-19	75	-4	-6	-10	-22	72	+3	124	
医薬品	6	4	10	5	1	6	-1	-3	-4	2	7	-1	4	
卸売	11	6	17	10	6	16	-1	+0	-1	5	15	+1	6	
その他	2	2	4	1	1	2	-1	-1	-2	0	1	+1	5	
調整額	-16	-8	-24	-15	-10	-25	+1	-2	-1	-8	-23	-2	-10	
合計	194	44	238	180	34	214	-14	-10	-24	26	206	+8	180	

化学品セグメント概況- (A) 業績

1. 2018年度 売上高構成



2. 2018年度 営業利益構成



3. 化学品業績推移 *2019/11発表



化学品セグメント概況-(B) 2019 1-3Q 主要製品売上高成長率、収益動向

<主要製品売上高成長率>

ファインケミカル	前年同期比		計画比 (19/11作成 非開示)
	3Q	1-3Q	
テピック	-10%	-1%	下ぶれ
環境化学品	-16%	-3%	下ぶれ
ファイン合計	-6%	-0%	下ぶれ

上記2製品グループの

2019年1-3Q実績ファインケミカル売上高に占める割合:82%

基礎化学品	前年同期比		計画比 (19/11作成 非開示)
	3Q	1-3Q	
メラミン	-30%	-12%	下ぶれ
尿素・アドブルー	+3%	+5%	上ぶれ
高純度硫酸	+5%	+1%	下ぶれ
基礎化学品 合計	-12%	-6%	下ぶれ

上記3製品グループの

2019年1-3Q実績基礎化学品売上高に占める割合:40%

2019 3Q実績 <前年同期比>

- (ファインケミカル) ◆ テピック減収(一般・電材減収)、環境減収
◆ 売上高減少、営業利益減少
- (基礎化学品) ◆ メラミン減収(国内・輸出減収
(中国品輸出増、市況下落))、
尿素・アドブルー増収、高硫増収
◆ 売上高減少、営業利益減少
- (セグメント) ◆ 売上高-9億円、営業利益-4億円

<化学品収益動向>

(億円)

	2018 実績(A)	2019 実績(B)	前年比 (B) - (A)	2019予(C) (19/11発表)	予想比 (B) - (C)	2018 実績	2019 実績	2019予 (19/11発表)
	3Q	3Q	3Q	3Q	3Q	1-3Q	1-3Q	4Q
売上高	96	87	-9	100	-13	266	255	105
ファイン	26	26	-0	29	-3	77	78	32
基礎	70	61	-9	71	-10	189	177	73
営業利益	10	6	-4	14	-8	22	9	17

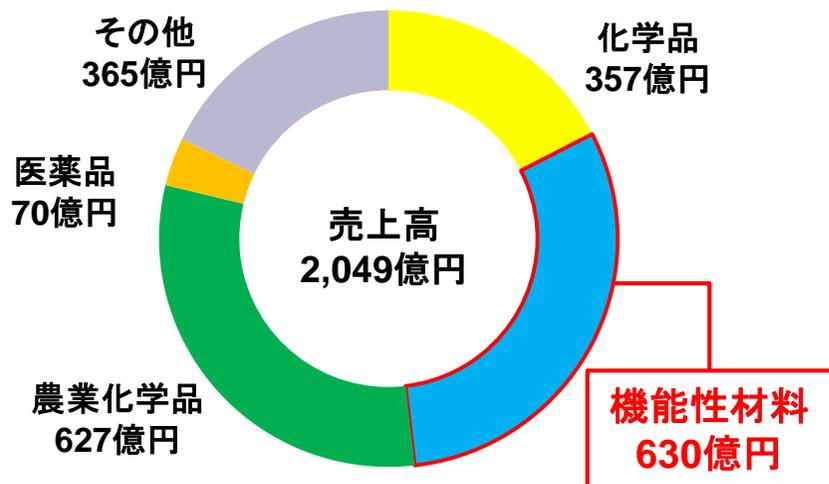
2019上期収益動向は、2020年3月期 第2四半期決算説明会資料
(2019年11月8日公表) 参照

2019 3Q実績 <2019/11業績予想比>

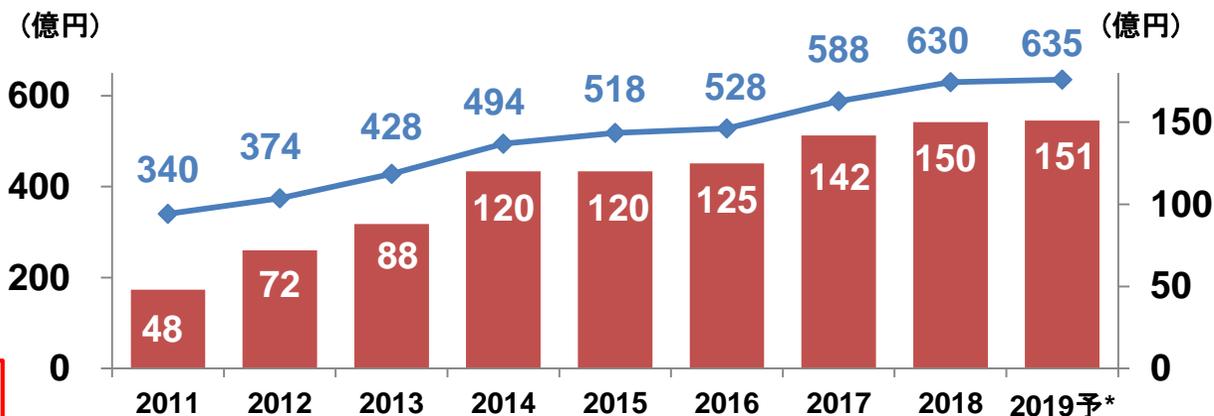
- (ファインケミカル) ◆ 売上高:テピック下ぶれ(一般・電材下ぶれ)、環境下ぶれ
◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎化学品) ◆ 売上高:メラミン下ぶれ(国内・輸出下ぶれ
(中国品輸出増、市況下落))、
高硫下ぶれ、尿素・アドブルー上ぶれ
◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (セグメント) ◆ 売上高-13億円、営業利益-8億円

機能性材料セグメント概況 – (A) 業績

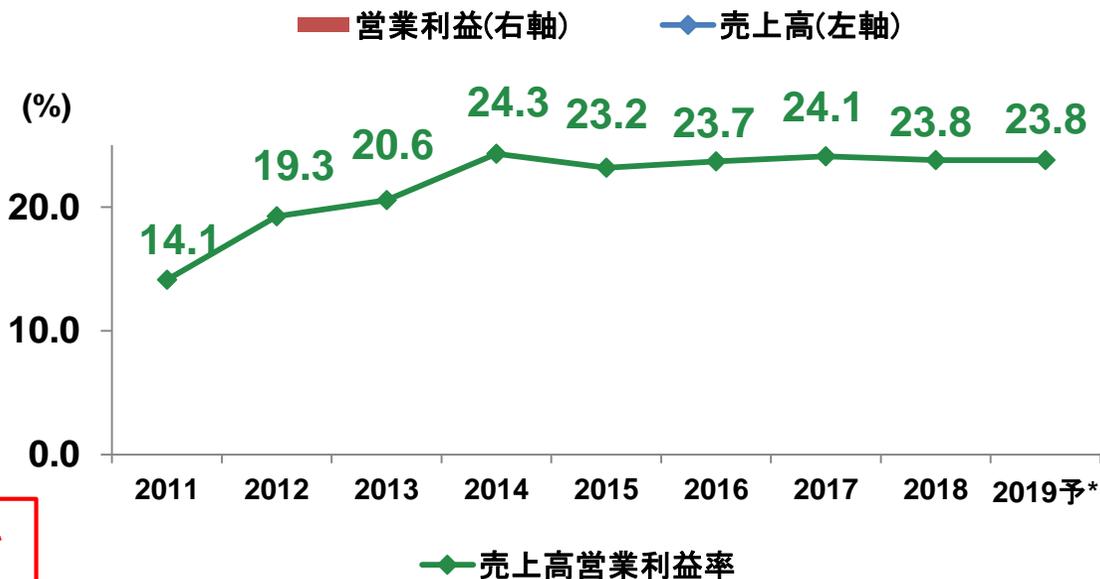
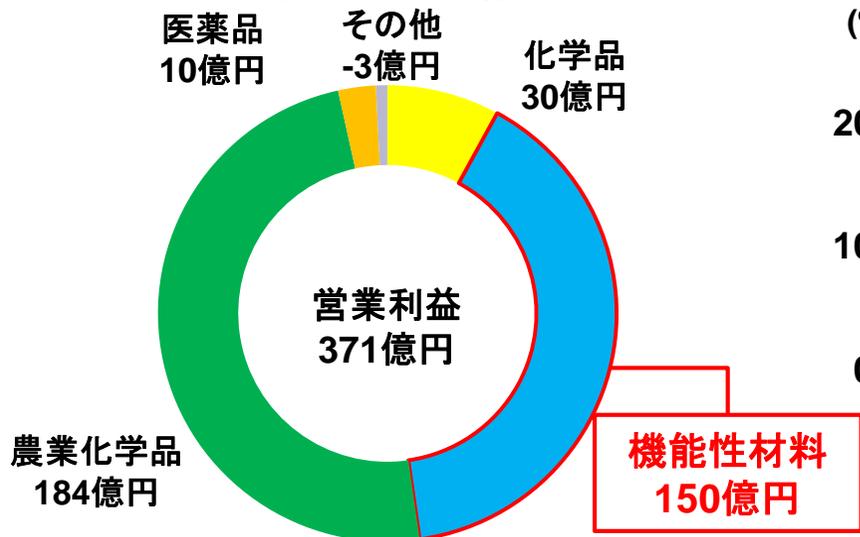
1. 2018年度 売上高構成



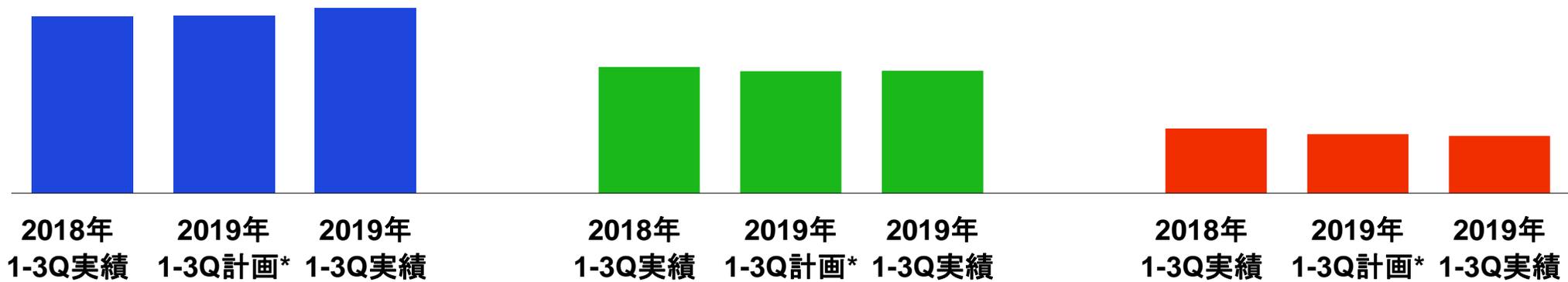
3. 機能性材料業績推移 *2019/11発表



2. 2018年度 営業利益構成



機能性材料セグメント概況 – (B) 2019 1-3Q 売上高構成



*19/11作成、非開示

< ディスプレイ材料 >

< 半導体材料 >

< 無機コロイド >

サンエバー：液晶配向材用ポリイミド

ARC®：半導体用反射防止コーティング材
 多層材料：半導体用多層プロセス材料
 (OptiStack®)

スノーテックス：研磨材(シリコンウェハー、
 化合物半導体、半導体CMP等)
 脱硝触媒、特殊鋼板

オルガノゾル・
 モノマーゾル：電子機器用フィルム表面処理、
 樹脂添加剤

オイル&ガス材料：シェールオイル・ガス採掘効率向上材

機能性材料セグメント概況- (C) 2019 1-3Q 主要製品売上高成長率

ディスプレイ材料	前年同期比		計画比 (19/11作成 非開示)
	3Q	1-3Q	
サンエバー 合計	+9%	+5%	上ぶれ
その他ディスプレイ材料 合計 (1)	+2%	-20%	下ぶれ
ディスプレイ材料合計	+9%	+5%	上ぶれ

無機コロイド	前年同期比		計画比 (19/11作成 非開示)
	3Q	1-3Q	
スノーテックス	-11%	-5%	下ぶれ
オルガノゾル・ モノマーゾル	-16%	-13%	下ぶれ
オイル&ガス材料	+5%	-48%	下ぶれ
無機コロイド合計	-12%	-11%	下ぶれ

半導体材料	前年同期比		計画比 (19/11作成 非開示)
	3Q	1-3Q	
KrF (ARC®)	-3%	-4%	上ぶれ
ArF (ARC®)	-5%	-3%	上ぶれ
ARC® 小計	-4%	-3%	上ぶれ
その他半導体材料 合計 (2)	+10%	-2%	下ぶれ
半導体材料合計	-0%	-3%	上ぶれ

- (1) 有機EL用塗布型ホール注入材、撥液バンク材料、位相差フィルム用配向材等
 (2) 多層材料 (OptiStack®)、EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材等

機能性材料セグメント概況 – (D) 2019 1-3Q サンエバー モード別売上高

<モード別売上高構成>



< TN ** >

主要用途：PC、モニター

*19/11作成、非開示

**TN : Twisted Nematic, VA : Vertical Alignment, IPS : In-Plane Switching

< VA ** >

テレビ

< IPS** >

スマートフォン、タブレット、PC

<モード別前年同期比連結売上高成長率>

サンエバー	前年同期比		計画比 (19/11作成 非開示)
	3Q	1-3Q	
TN	↘ ↘ ↘	↘ ↘ ↘	上ぶれ
VA	↗ ↗	↗ ↗	上ぶれ
IPS	↗ ↗	↗	上ぶれ
合計	+9%	+5%	上ぶれ

前年同期比売上高増減

+10~+19%	↗↗
+0~+9%	↗
-0~-9%	↘
-10~-19%	↘↘
-20~-29%	↘↘↘

機能性材料セグメント概況 – (E) 収益動向

＜機能性材料収益動向＞

	2018実績	2019実績	前年比	2019予(C)	予想比	2018実績	2019実績	2019予
	(A)	(B)	(B) - (A)	(19/11発表)	(B) - (C)			(19/11発表)
	3Q	3Q	3Q	3Q	3Q	1-3Q	1-3Q	4Q
売上高	166	170	+4	162	+8	486	484	159
営業利益	43	49	+6	35	+14	124	131	34

(億円)

半導体その他新材料: EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

2019 3Q実績 ＜前年同期比＞

- ◆ サンエパー増収(IPS増収(光増収、ラビング減収)、VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体材料横ばい(KrF・ArF減収、その他増収(多層増収、その他新材料増収))
- ◆ 無機減収(スノーテックス減収、オルガノゾル・モノマーゾル減収、オイル&ガス材料増収)
- ◆ 固定費減少5億円
- ◆ 売上高+4億円、営業利益+6億円
(DP増益、半導体横ばい、無機減益)

2019 3Q実績 ＜2019/11業績予想比＞

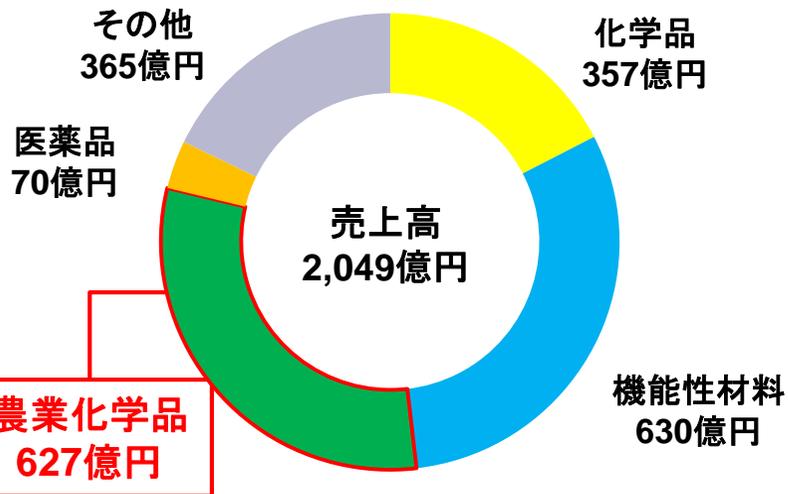
- ◆ サンエパー売上高上ぶれ(IPS上ぶれ(光上ぶれ、ラビング下ぶれ)、VA・TN上ぶれ)
- ◆ 半導体材料売上高上ぶれ
(KrF・ArF上ぶれ・その他下ぶれ(多層・その他新材料下ぶれ))
- ◆ 無機売上高下ぶれ
(スノーテックス下ぶれ、オルガノゾル・モノマーゾル下ぶれ、オイル&ガス材料下ぶれ)
- ◆ 固定費下ぶれ6億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+8億円、営業利益+14億円
(DP利益上ぶれ、半導体利益上ぶれ、無機利益下ぶれ)

2019上期収益動向は、2020年3月期 第2四半期決算説明会資料(2019年11月8日公表) 参照

(白紙)

農業化学品セグメント概況- (A) 業績

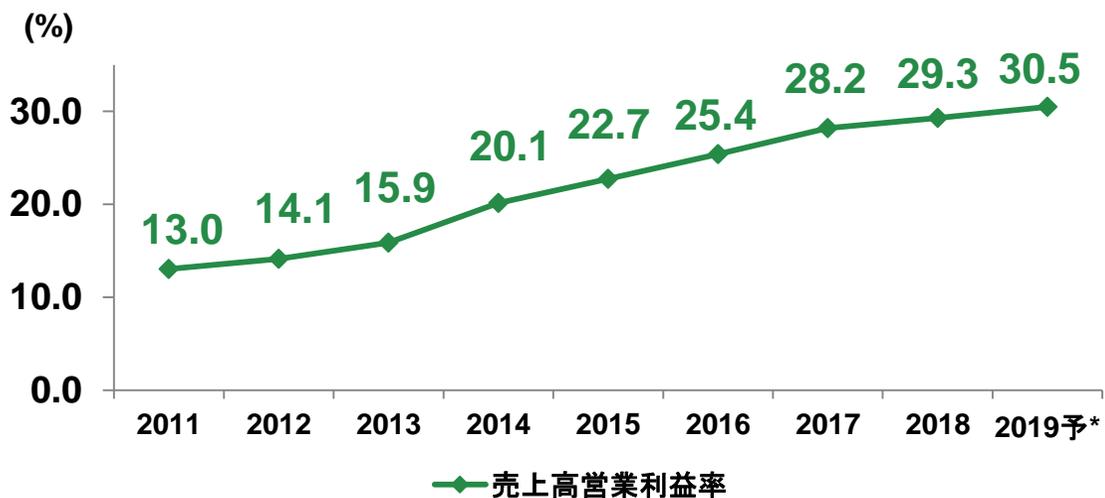
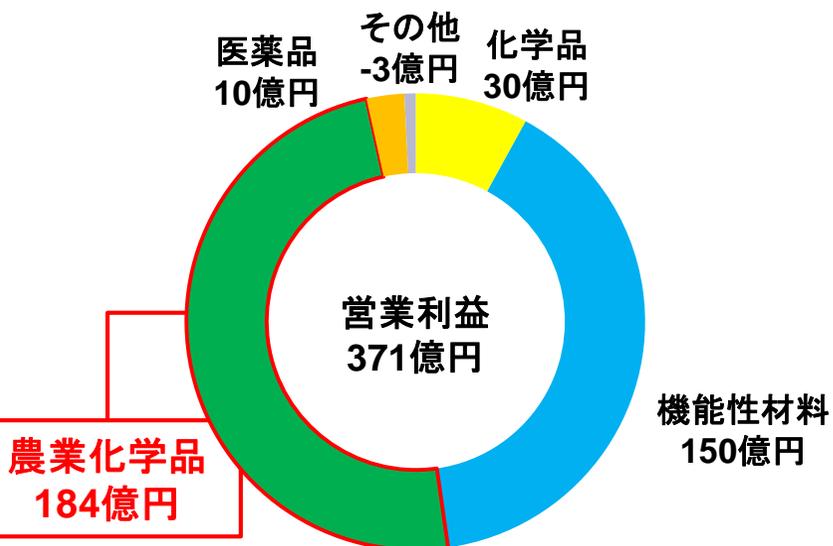
1. 2018年度 売上高構成



3. 農業化学品業績推移 *2019/11発表



2. 2018年度 営業利益構成



農業化学品セグメント概況- (B) 2019 1-3Q 主要製品売上高成長率

<主要製品売上高成長率(値引前)>

主要製品名 (2018年間実績 売上高順)	種類	前年同期比	計画比 (19/11作成 非開示)
		1-3Q	
フルララネル	動物薬	↓↓	下ぶれ
ラウンドアップ (1)	除草	+10%	上ぶれ
アルテア	除草	↗↗	上ぶれ
タルガ	除草	↓↓↓	上ぶれ
パーミット	除草	↓	上ぶれ
グレーシア	殺虫	+400%以上	下ぶれ
農業化学品 セグメント合計	-	-2%	上ぶれ

⇒2020年1月22日開催 ラウンドアップの現状説明会資料参照

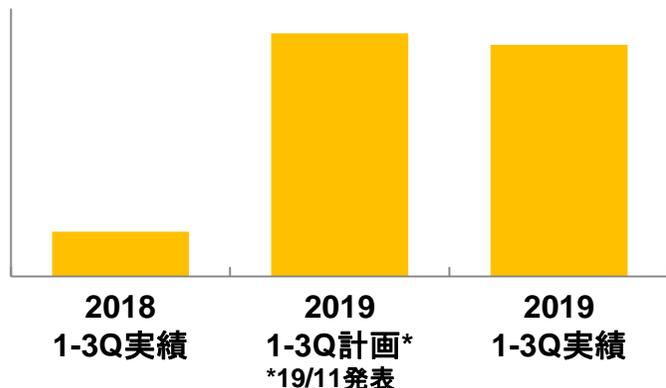
https://www.nissanchem.co.jp/news_release/news/n2020_01_23.pdf

前年同期比売上高増減

+10~+19%	↗↗
+0~+9%	↗
-0~-9%	↘
-10~-19%	↘↘
-20~-29%	↘↘↘

(1) ラウンドアップマックスロードALは、2019年1-3Q実績ラウンドアップ売上高全体の26%を占める

<グレーシア売上高 2019 1-3Q実績>



グレーシア売上高成長予想は、2020年3月期 第2四半期決算説明会資料
(2019年11月8日公表) p38参照

<クインテック(キノキシフェン)>

- ・2019年11月米国コルテバ社より殺菌剤キノキシフェン事業を買収(63億円)、12月販売開始
- ・クインテック = 有効成分キノキシフェンを含む製品群中の主製品
- ・果樹、野菜用殺菌剤、主な市場は米国
- ・果樹(特にブドウ)や野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的

<キノキシフェン収益予想>

2019年12月2日プレスリリース記載 (億円、概数)

年度	営業利益	償却前営業利益
2019	0	3
2020	0	10
2021-24計	10	55

償却5年定額(監査前のため変更可能性有)

農業化学品セグメント概況- (C) フルララネル



◆フルララネル(Fluralaner)

- BRAVECTO・EXZOLTの有効成分として、当社がMSD社に供給
- BRAVECTOシリーズ・EXZOLTは現在100か国で発売中
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
 - ・2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
 - ・ドイツ、フランス等一部EU諸国では、2029年2月まで延長済み、米国、UKは延長申請中

◆ブラベクト(BRAVECTO)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- さらに、通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間*にわたって持続する

*クリロコイタマダニは8週間

- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)

2014年4月欧州、2014年6月米国、2015年7月日本、**2019年7月中国**

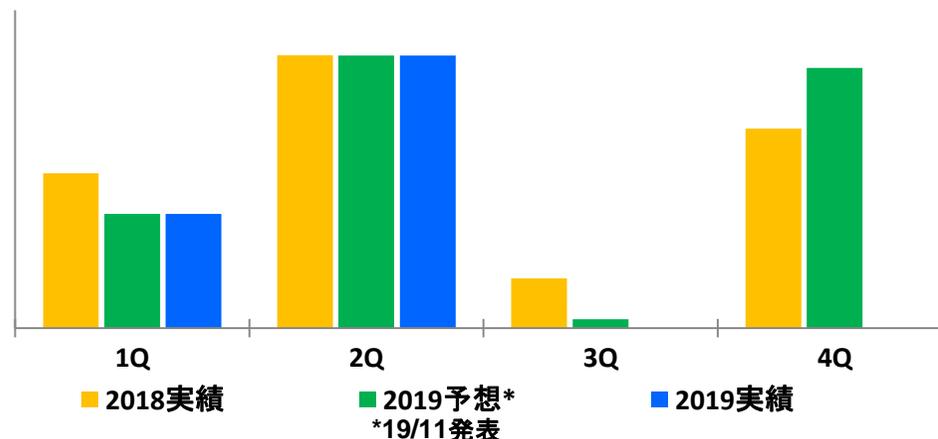
- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)

2016年7月EU(猫)、2016年12月米国(猫)

2017年1月米国・ドイツ・オーストリア(犬)

2018年6月日本(猫)

■ 当社フルララネル 四半期別売上高(ロイヤリティ収入含む)



◆エグゾルト(EXZOLT)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)

2017年9月欧州

◆ブラベクトプラス(BRAVECTO Plus)

- 猫向け外内部寄生虫スポットオン合剤

2018年7月EU

2019年12月米国

フルララネル売上高2018~2021予想は、中期経営計画「Vista2021」Stage II 説明資料(2019年5月15日公表)p30参照

農業化学品セグメント概況- (D) 収益動向

<農業化学品収益動向>

	2018実績	2019実績	前年比	2019予(C)	予想比	2018実績	2019実績	2019予
	(A)	(B)	(B) - (A)	(19/11発表)	(B) - (C)			(19/11発表)
	3Q	3Q	3Q	3Q	3Q	1-3Q	1-3Q	4Q
売上高	59	55	-4	52	+3	346	334	312
営業利益	-13	-19	-6	-22	+3	85	75	124

(億円)

2019 3Q実績 <前年同期比>

- ◆ 増収: グレーシア(国内)、アルテア(国内、輸出)、ラウンドアップパーミット(輸出)
- ◆ 減収: フルララネル(出荷時期ずれ)、タルガ(輸出)
- ◆ 固定費増加3億円(うちキノキシフェン償却費2億円)
- ◆ 在庫変動影響-3億円(マイナス影響)
- ◆ 売上高-4億円、営業利益-6億円

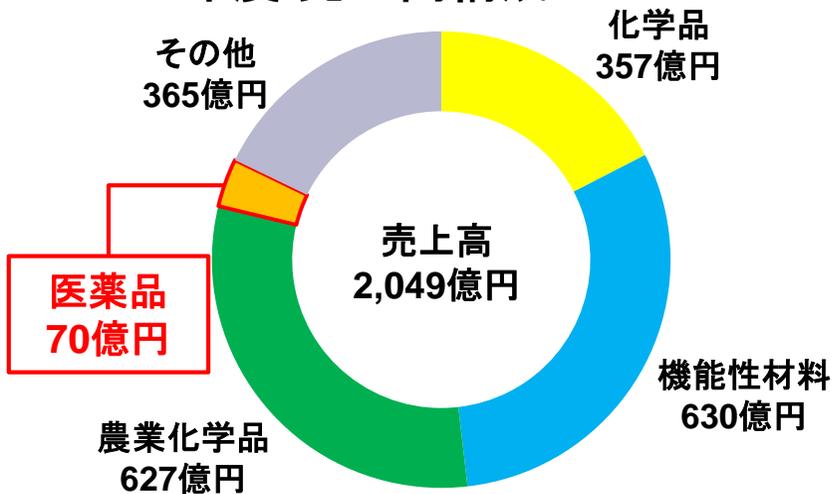
2019 3Q実績 <2019/11業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ: ラウンドアップ、アルテア(国内、輸出)、タルガ(輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 売上高下ぶれ: フルララネル、グレーシア(輸出)
- ◆ タルガを除く各製品の売上高上ぶれ・下ぶれは主に4Qとのお荷時期ずれ
- ◆ 固定費上ぶれ1億円(うちキノキシフェン償却費2億円)
- ◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス影響)
- ◆ 売上高+3億円、営業利益+3億円

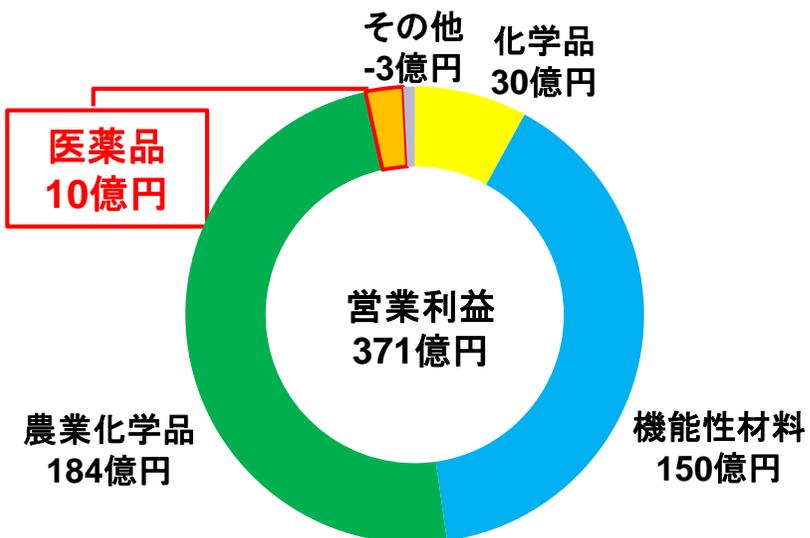
2019上期収益動向は、2020年3月期 第2四半期決算説明会資料(2019年11月8日公表) 参照

医薬品セグメント概況 - (A) 業績

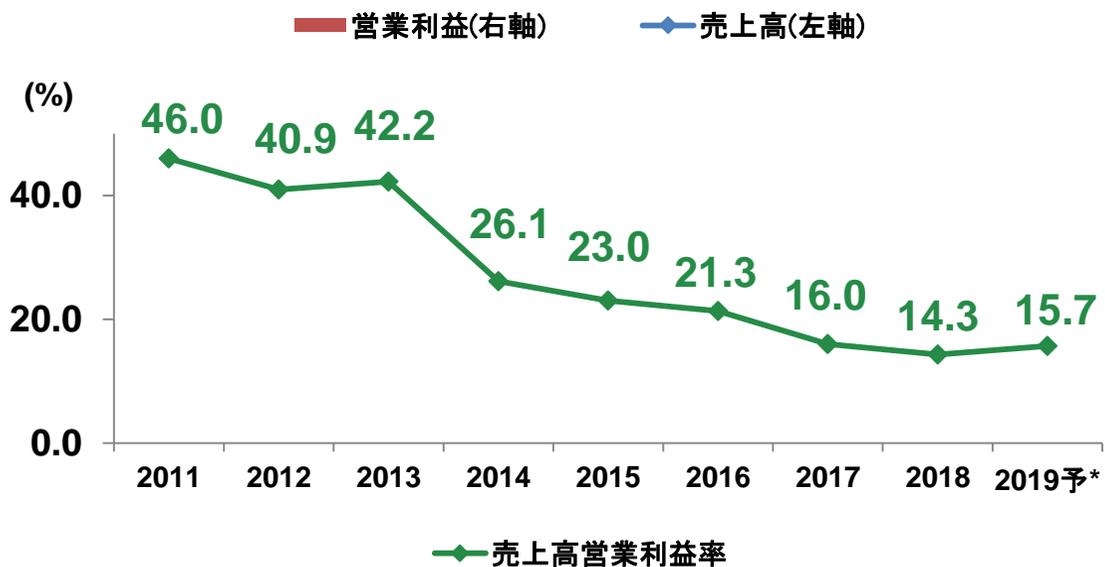
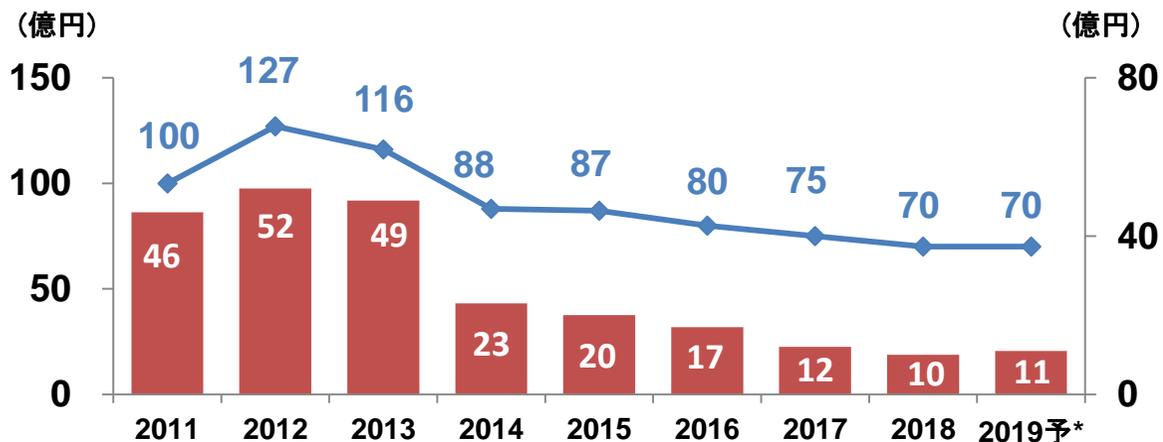
1. 2018年度 売上高構成



2. 2018年度 営業利益構成



3. 医薬品業績推移 *2019/11発表



医薬品セグメント概況-(B) 2019 1-3Q 主要製品売上高成長率、収益動向

< 医薬品収益動向 >

(億円)

	2018実績 (A)	2019実績 (B)	前年比 (B) - (A)	2019予(C) (19/11発表)	予想比 (B) - (C)	2018実績	2019実績	2019予 (19/11発表)
	3Q	3Q	3Q	3Q	3Q	1-3Q	1-3Q	4Q
売上高	19	16	-3	16	-0	56	50	20
営業利益	4	1	-3	2	-1	10	6	4

< 主要製品売上高成長率 >

	前年同期比		計画比 (19/11発表 非開示)
	3Q	1-3Q	
リバロ	-23%	-16%	上ぶれ
ファインテック	-8%	-3%	下ぶれ
医薬品 セグメント合計	-17%	-11%	予想通り

2019 3Q実績

< 前年同期比 >

- ◆ リバロ減収(国内増収、輸出減収)
- ◆ ファインテック減収
- ◆ 売上高-3億円、営業利益-3億円

2019 3Q実績

< 2019/11業績予想比 >

- ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内上ぶれ、輸出下ぶれ)
- ◆ ファインテック売上高下ぶれ
- ◆ 売上高予想通り、営業利益-1億円

ESGへの取り組み、外部からの評価

◆ ESGインデックス等

2017年～ 健康経営優良法人ホワイト500に3年連続認定

2019年9月 Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index の構成銘柄に
2年連続で選定

「統合レポート2019」を発行

https://www.nissanchem.co.jp/ir_info/archive/ar/ar2019.pdf

◆ ガバナンス

2019年4月 指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)

2019年6月 取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)
社外取締役を1名増員し、3名体制へ(取締役は計9名)

◆ 東京証券取引所「企業価値向上表彰」表彰候補50社に選定

2019年8月 「企業価値向上表彰」の表彰候補として、上場企業約3,600社中の
50社に2年連続選定

2019予想(2019年11月8日発表、今回変更なし)

(億円)

	2018実績							2019予想 (2019/11発表)						
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計
売上高	509	471	980	439	630	1,069	2,049	487	478	965	425	700	1,125	過去最高 2,090
営業利益	107	87	194	44	133	177	371	93	87	180	26	180	206	過去最高 386
営業外損益	12	0	12	4	4	8	20	7	-1	6	3	2	5	11
経常利益	119	87	206	48	137	185	391	100	86	186	29	182	211	過去最高 397
特別損益	0	0	0	0	0	0	0	9	0	9	0	0	0	9
純利益(1)	88	66	154	34	106	140	294	78	67	145	23	138	161	過去最高 306
EBITDA(2)	131	113	244	73	163	236	480	116	111	227	-	-	262	489
EPS(円/株)(3)	59.25	44.28	103.53	23.11	71.03	94.14	197.67	53.13	45.62	98.75	-	-	110.17	208.92
配当(円/株)	-	-	40	-	-	42	82	-	-	42	-	-	46	88
配当性向(%)	-	-	-	-	-	-	41.5	-	-	-	-	-	-	42.1
配当総額(3)	-	-	59	-	-	62	121	-	-	62	-	-	67	129
売上高営業利益率	21.0%	18.5%	19.8%	10.1%	21.1%	16.6%	18.1%	19.2%	18.2%	18.7%	6.1%	25.7%	18.3%	18.5%
ROE(3)	-	-	-	-	-	-	16.6%	-	-	-	-	-	-	16.8%
為替レート(円/ドル)	109	111	110	-	-	112	111	110	107	109	108	108	108	
ナフサ(円/kl)	48,700	53,500	51,200	-	-	48,400	49,700	45,400	40,200	42,800	42,100	42,100	42,100	

(1) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(3) 2019予想は、自己株取得100億円(2019年5月～7月取得完了60億円、2019年11月～取得予定40億円)の影響を含む

2016-19 四半期別セグメント別売上高(1)

(億円)

	2016実績					2017実績					2018実績					2019実績			2019予想 (2019/11発表)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	3Q	4Q
化学	85	80	91	92	348	88	79	92	90	349	87	83	96	91	357	84	84	87	100	105
_{ファイブ}	28	25	27	27	107	28	25	28	25	106	27	24	26	27	104	26	26	26	29	32
_{基礎}	57	55	64	65	241	60	54	64	65	243	60	59	70	64	253	58	58	61	71	73
機能	126	129	138	135	528	141	150	151	146	588	156	164	166	144	630	151	163	170	162	159
農化	145	95	42	238	520	146	115	64	256	581	164	123	59	281	627	147	132	55	52	312
医薬	22	15	24	19	80	21	14	23	17	75	18	19	19	14	70	19	15	16	16	20
卸売	144	132	137	139	552	146	145	159	145	595	178	156	181	164	679	175	158	175	175	163
他	40	46	58	96	240	54	43	46	72	215	46	59	72	69	246	49	49	51	55	71
調整	-111	-103	-114	-137	-465	-122	-110	-118	-119	-469	-140	-133	-154	-133	-560	-138	-123	-139	-135	-130
合計	451	394	376	582	1,803	474	436	417	607	1,934	509	471	439	630	2,049	487	478	415	425	700

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

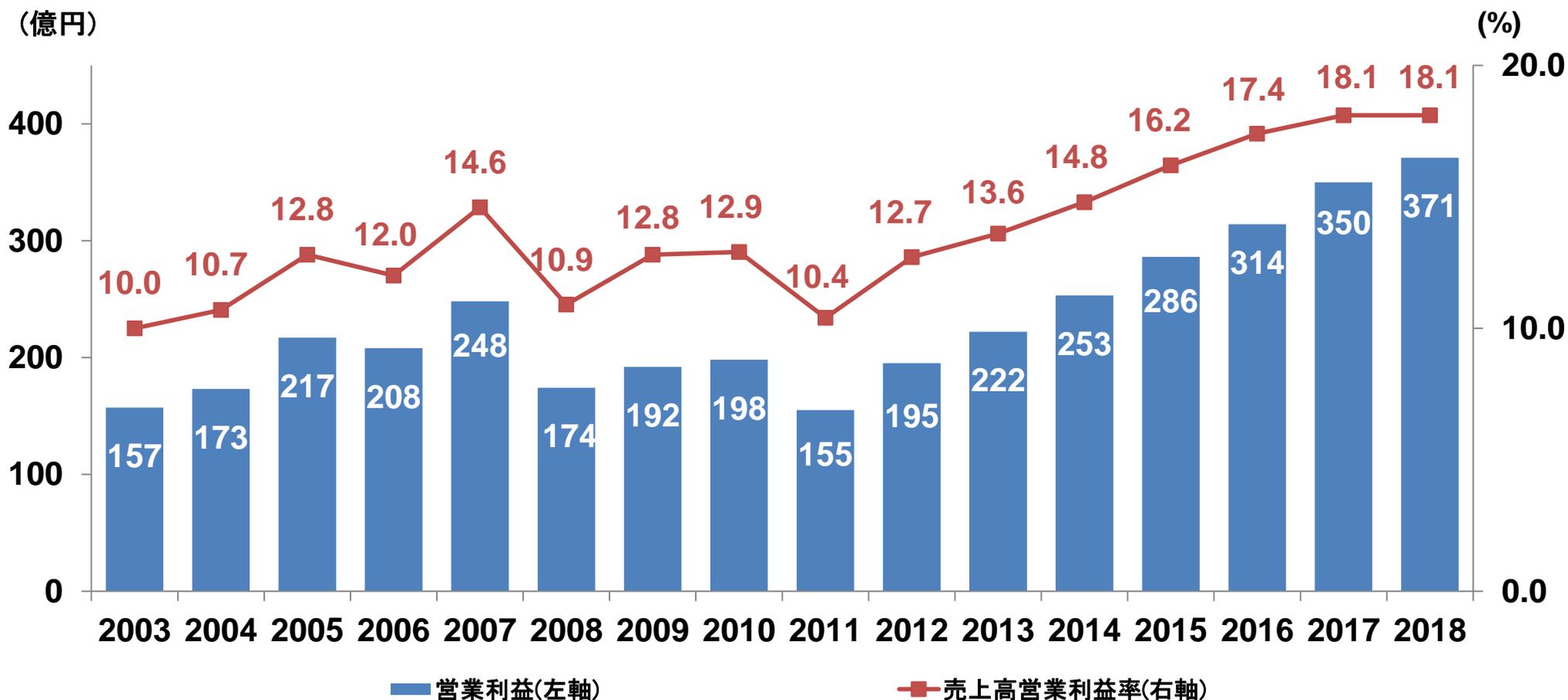
2016-19 四半期別セグメント別営業利益

(億円)

	2016実績					2017実績					2018実績					2019実績			2019予想 (2019/11発表)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	3Q	4Q
化学	15	-2	13	12	38	15	-2	12	9	34	16	-4	10	8	30	9	-6	6	14	17
機能	30	32	38	25	125	36	41	40	25	142	39	42	43	26	150	39	43	49	35	34
農化	45	24	-20	83	132	45	36	-6	89	164	51	47	-13	99	184	45	49	-19	-22	124
医薬	6	0	8	3	17	5	0	6	1	12	3	3	4	0	10	4	1	1	2	4
卸売	4	4	5	4	17	4	5	5	4	18	6	5	6	3	20	5	5	6	5	6
他	0	0	2	8	10	1	1	1	3	6	1	1	2	5	9	1	0	1	0	5
調整	-5	-6	-6	-8	-25	-6	-8	-7	-5	-26	-9	-7	-8	-8	-32	-10	-5	-10	-8	-10
合計	95	52	40	127	314	100	73	51	126	350	107	87	44	133	371	93	87	34	26	180

当社の特徴- (A) 売上高営業利益率

- ◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持
(2003年度以降16年連続10%以上)



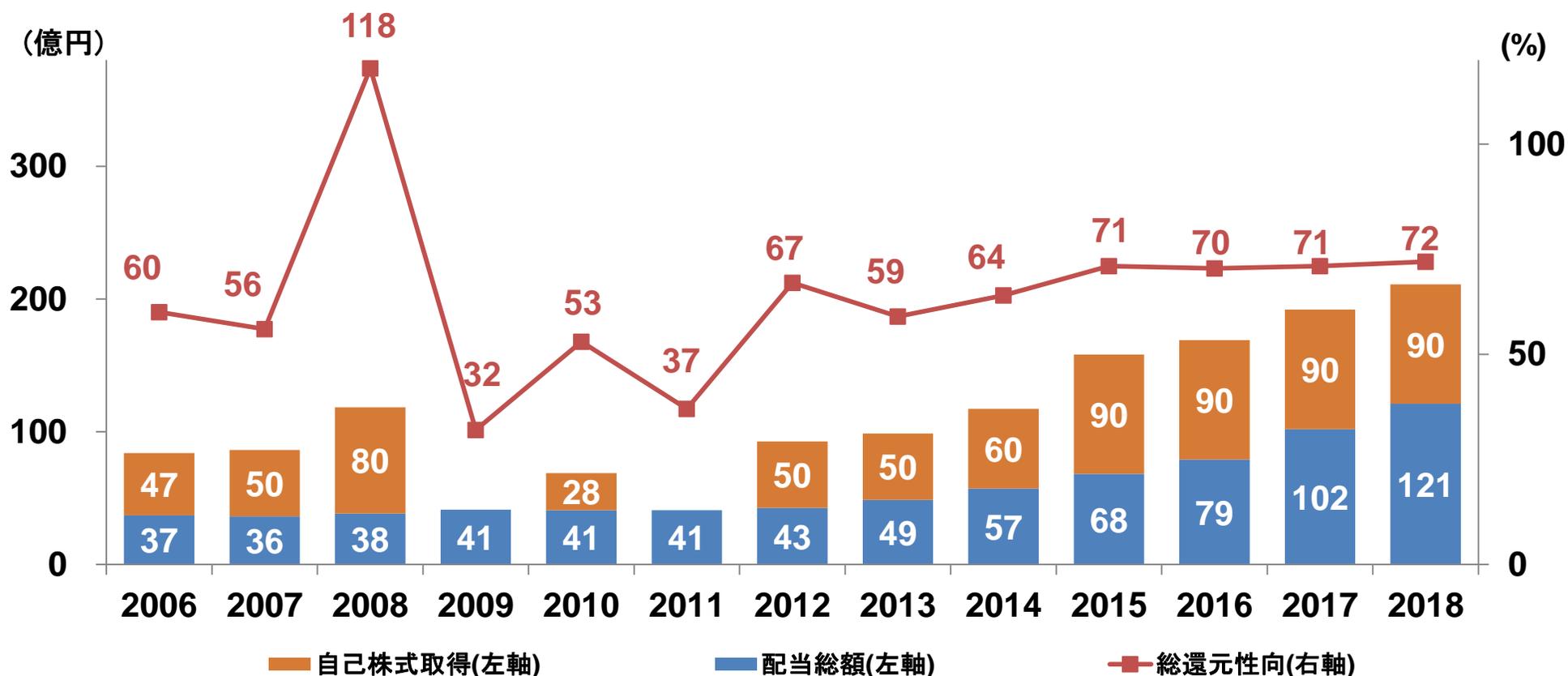
当社の特徴- (B) ROE

- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 2016年度以降は14%以上維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 2018年度実績は16.6%
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では16%以上維持が目標



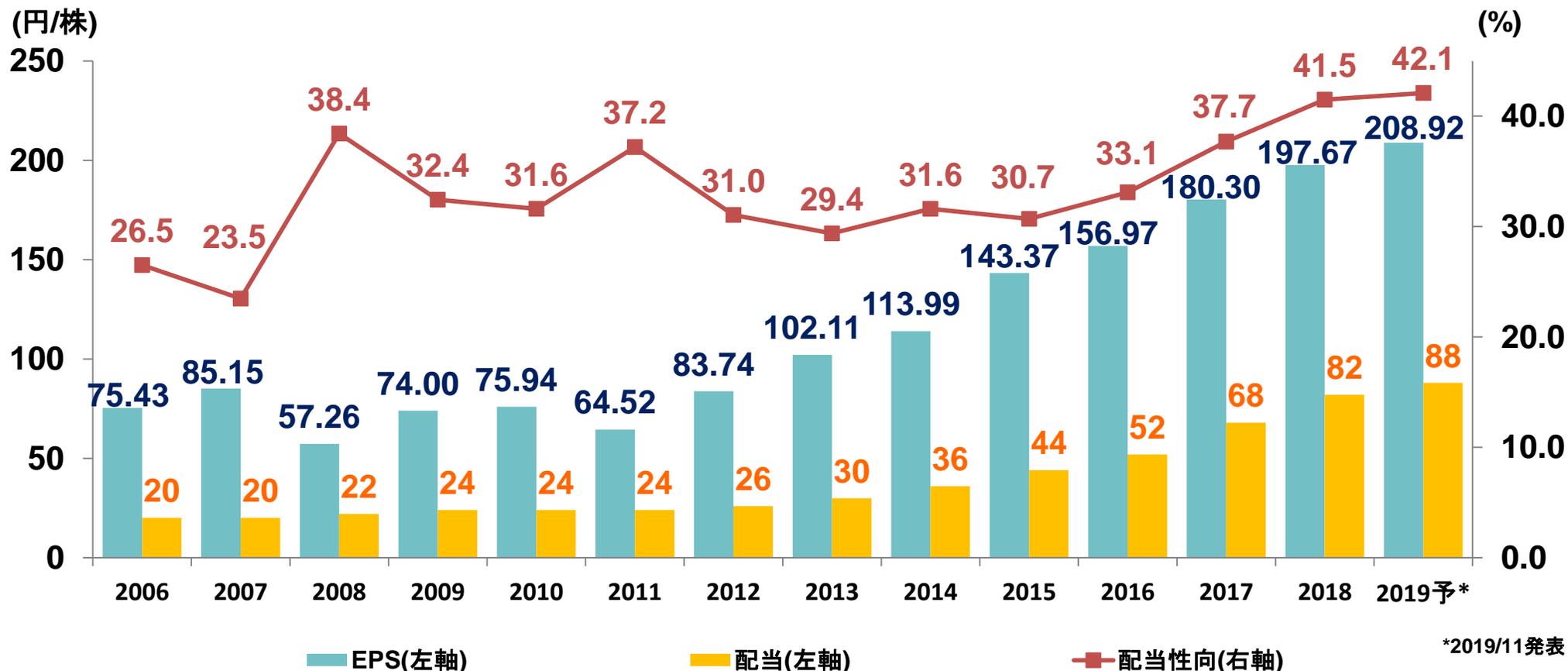
当社の特徴- (C)株主還元 (総還元性向)

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元の結果、近年は60%-70%で推移
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 2018年度実績は72.0%
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では、2019年度72.5%、2020年度以降75%が目標



当社の特徴- (D)株主還元 (配当性向)

- ◆ 2015年度30.7%から段階的に引き上げ、2018年度実績41.5%
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では
2019年度42.5%、2020年度以降45%が目標



当社の特徴- (E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始
- ◆ 2006-18年度取得総額725億円、3,875万株(取得開始前発行済株式の20.7%)
- ◆ 2006-18年度取得株はすべて消却済

2006-18年度 自己株式取得実績

(1) 単元未満株式買取を除く (2) 単元未満株式を含む

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	合計
自己株式取得総数(千株)(1)	3,500	3,399	7,355	0	2,167	0	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	38,748
取得価額総額(億円)(1)	47	50	80	0	28	0	50	50	60	90	90	90	90	725
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	0	3,000	0	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	38,635
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	174	171	171	165	161	158	156	154	151	149	
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	1,709	885	886	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	32	53	37	67	59	64	71	70	71	72	

◆ 取得

年度	2018実績		2019実績	2019計画 (2019年11月8日発表分)
取得時期	2018年5月14日 ~6月8日	2019年2月12日 ~3月4日	2019年5月16日 ~7月23日	2019年11月11日 ~2020年4月30日
取得総額(億円)	50	40	60	40(上限)
取得株数(千株)	976	706	1,270	1,300(上限)

◆ 消却

年度	2019実績	
消却時期	2019年5月	2019年8月
消却株数(千株)	1,000	1,000

◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

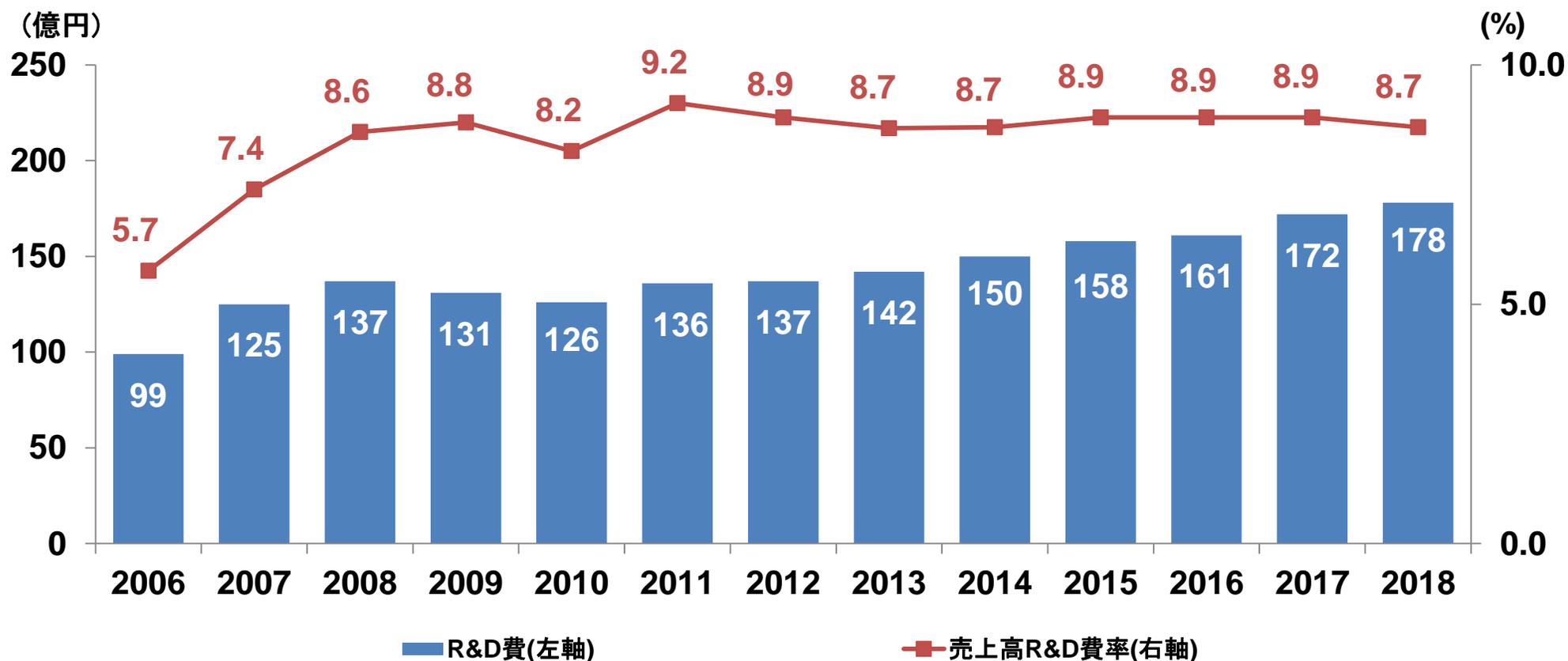
目標現預金残高水準

= 必要下限額 + 流動性リスク対応 [1/3 × (長期借入金年間返済予定額 + 短期借入残)]
+ 偶発リスク対応

(白紙)

当社の特徴- (F-1)研究開発

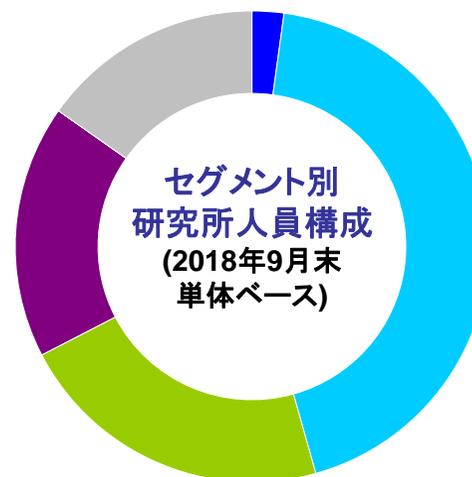
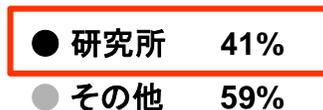
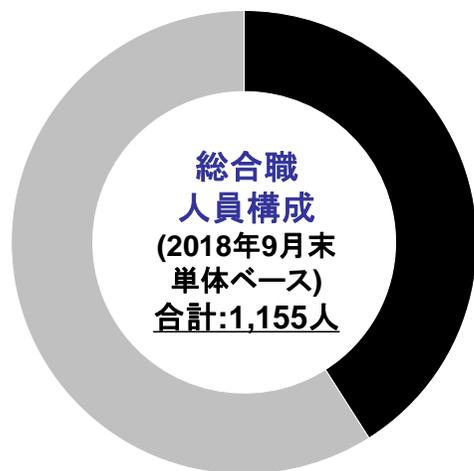
- ◆独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆総合職の約40%はR&D要員



当社の特徴- (F-2)研究開発

◆セグメント別研究開発費

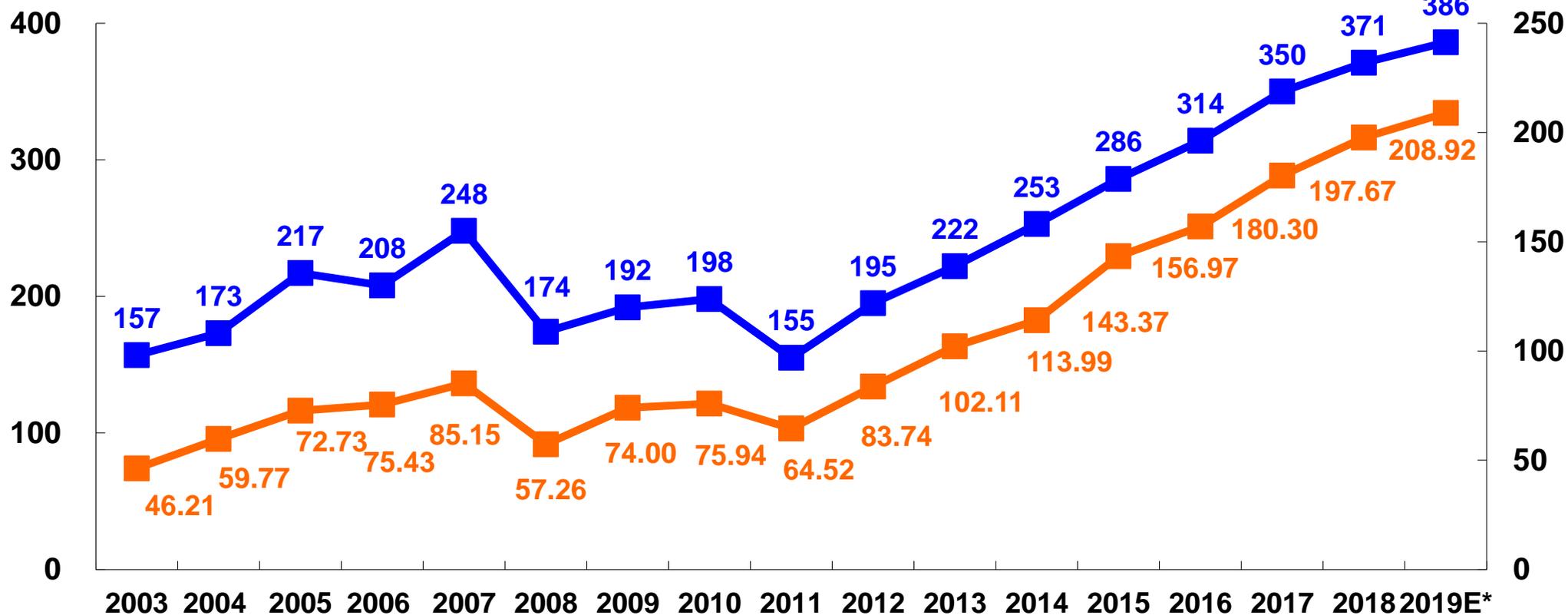
セグメント	2018年度実績				
	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	357	30	8.4%	6	1.7%
機能性材料	630	150	23.8%	82	13.0%
農業化学品	627	184	29.3%	45	7.2%
医薬品	70	10	14.3%	25	35.7%
コーポレート他	-	-	-	20	-
その他共通合計	2,049	371	18.1%	178	8.7%



長期業績推移

営業利益
(億円)

EPS
(円/株)



*2019/11発表

長期業績推移

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019E*
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,090
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	397
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	306
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	403	455	480	489
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.5%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.8%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	208.92
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	88
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.1%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	143	137	99	101
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	103
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	175
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.4%

*2019/11発表

セグメント別売上高、営業利益推移 (1)(2)

<売上高 (A)>

(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019E*
化学	381	369	345	355	343	343	348	349	357	373
機能	380	340	374	428	494	518	528	588	630	635
農化	344	338	354	391	457	475	520	581	627	643
医薬	96	100	127	116	88	87	80	75	70	70
卸売	441	448	466	507	544	556	552	595	679	671
他	270	200	212	214	209	209	240	215	246	224
調整	-370	-309	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-526
合計	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,090

<営業利益 (B)>

化学	24	16	19	19	19	39	38	34	30	34
機能	79	48	72	88	120	120	125	142	150	151
農化	48	44	50	62	92	108	132	164	184	196
医薬	44	46	52	49	23	20	17	12	10	11
卸売	14	13	14	15	17	18	17	18	20	21
他	10	3	7	8	6	5	10	6	9	6
調整	-21	-15	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-33
合計	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386

<営業利益率 (C)=(B)/(A)>

化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	9.1%
機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	23.8%
農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.5%
医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	15.7%
卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%
他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	2.7%
合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.5%

<セグメント資産 (D)>

2018
287
513
618
91
255
115
591
2,470

<ROA (E)=(B)/(D)>

10.5%
29.2%
29.8%
11.0%
7.8%
7.8%
15.0%

(1)2010-11：旧セグメント，2012-：新セグメント

*2019/11発表

(2)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル テピック メラミンシアヌレート ハイライト</p> <p>◆基礎化学品 メラミン 尿素、アドフルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレージストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤 塩素化イソシアヌル酸： プール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アドフルー（ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料 サンエハー ARC®(KrF、ArF) OptiStack®(多層材料) NHC OPTIFOCUS エルソース</p> <p>◆無機コロイド スノーテックス</p> <p>オルガノゾル・モノマーゾル アルミナゾル サンコロイド セルナックス オイル&ガス材料</p>	<p>液晶配向材用ホリイミド 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料(Si-HM、SOC) *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標 タッチパネル用絶縁膜 イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： 研磨材(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)、 脱硝触媒、特殊鋼板</p> <p>有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止 シェールオイル・ガス採掘効率向上材</p>
農業化学品	<p>◆除草剤 タルガ パーミット シリウス ラウンドアップ アルテア</p> <p>◆殺虫剤 サンマイト、マイトコーネ、スターマイト グレーシア</p> <p>◆殺菌剤 ハルサー、イカルガ、グレートム (チフルサミド) ライメイ クインテック(キノキシフェン)</p> <p>◆動物薬 フルララネル</p>	<p>大豆、なたね、てんさい とうもろこし、さとうきび、米 米 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜 野菜、茶</p> <p>芝、稲、ばれいしよ</p> <p>野菜 果樹、野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬フラベクト、鶏用ワクモ駆除剤EXZOLT原薬</p>
医薬	リハロ ファインテック	高コレステロール血症治療薬 医薬品技術開発型受託事業
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。



Nissan Chemical
CORPORATION